

車両との接続はバッテリー端子に繋ぐだけ！ 軽い着心地で運動性も高い電熱ジャケット

KLAN HOT INNER JACKET

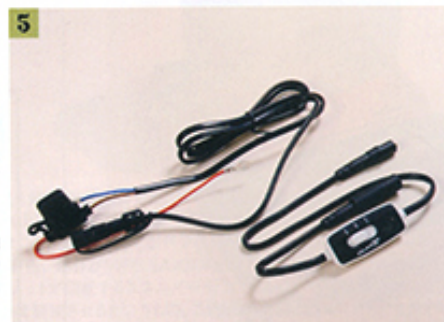
価格：○1万9800円(税抜き)
 ジャベックス ☎03-3773-7633
 www.japex.net
 重量：約695g/Lサイズ(編集部実測値)
 サイズ：S、M、L、XL、2XL、3XL、4XL
 カラー：ブラック
 定格電圧：12V 定格電流：4.2A 消費電力：50.4W
 装備品：バッテリーケーブル、
 2ポジションロングスイッチケーブル

Introduction

2001年にイタリアで設立され、寒冷地での作業用ウエアからスタートした電熱ウエアメーカーのクラン。そこでのノウハウを生かしたバイク用電熱ウエアは、寒さ厳しい季節でもライディングを楽しみたいライダーたちが選ぶ定番の商品になっている。ラインナップはジャケット、ベスト、インナーパンツ、ソックス、グローブと、すべて揃えれば体全体を温めることが可能。ケーブル類の種類も多く、シガーソケットやヘラーソケットから電源を取ることもできる。



1 ジャケット内側の膨らんだ部分が電熱線の通り道だ。その電熱線の周囲に空気の通り道を作ることで、温められた空気がジャケット内を効率よく循環する仕組みだ。裏地全体がメッシュ地なのも、空気の循環を高めるため。2 ジャケットの下部には、温められた空気を留めるためにウエスト幅を調整できるコードロックを装備。ウエアの汚れがひどい場合には、常温水と中性洗剤でもみ洗い可能。ただし、バッテリーと接続するコネクタ部分は水がかからないようにする必要がある。3 運動性を高めるため、背中の肩部分に伸縮性のある素材を使用。この伸縮素材の採用でジャケットがスリムに作られているため、ボディにほどよくフィットする。4 冷気が入りやすい袖口にはフィットする伸縮性素材を用い、フィンガーホールも装備する。5 今年のモデルから2段階で温度調整が可能なスイッチが標準装備。12Vバッテリーに直結して電源を取るケーブルには、安全のためヒューズを備える。



度使ったら手放せないと云われる電熱ウエア。今回はジャベックスが取り扱うクランのホットインナージャケットを実際に使用してみた。まずは着心地をチェック。電熱線が胴体部分の前後腕、エリに入っているが、気になるところはゴワツキはなく普通のインナージャケットと変わらない。身長163cm、体重70kgのまるっこい体型のテスターがLサイズを着用したが、フィット感は気持ち余裕がある程度。平均体重のひとならば、通常着ているサイズで問

違いないだろう。肝心の電熱の効果だが、スイッチを入れてからの温度の立ち上がり方が速く、わずか1〜2分でジャケットは温かくなった。とくに効果を感じたのはエリまわり。面ファスナーでフィット感を調節でき、冷たい空気の侵入をシャットアウトしてくれる。数分もすれば、コタツに首まで入っているような温かさだ。ただし注意が必要なのは、2500CC以上の車両での使用を推奨していること。小排気量車だとバイクの発電量が足りず、使用できないことがあるためだ。



Point

電熱線のまわりに設けられた空間で温かい空気が循環